

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課	
		担 当	健康増進 G 中村	
会議名 (審議会等名)	平成 27 年度 第 2 回嬉野市健康づくり推進協議会			
開催日時	平成 27 年 11 月 25 日(水) 14:00～15:10			
開催場所	嬉野市役所 塩田保健センター 2 階会議室			
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人	
公開不可・一部不可 の場合はその理由	-			
出 席 者	委 員	土井委員	杵藤保健福祉事務所所長	
		田中委員(会長)	嬉野町医師会会長	
		西村委員	塩田町医師会会長	
		古賀委員	嬉野市歯科医師会会長	
		北委員	嬉野市薬剤師会代表	
		井上委員	嬉野地区行政嘱託員代表	
		古河委員(副会長)	嬉野市食生活改善推進協議会会長	
		一ノ瀬委員	塩田中学校養護教諭	
		松本委員	嬉野市民生児童委員協議会会長	
		樋口委員	嬉野市母子保健推進協議会会長	
		中村委員	元主任児童委員・母子保健推進員	
	事務局	市民福祉部長、健康づくり課長、 健康づくり課副課長、健康づくり課(健康増進 G)係員		
	その他	谷口市長		
会議の議題	別紙「協議会資料」のとおり			
配布資料	「協議会資料」			
審議等の内容	別紙のとおり			

審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	1.開会、2.市長あいさつ、3.協議会会長あいさつ		
内 容	事務局の進行により、議題1～3までを進めた。		
審議経過		1開会 (省略) 2市長あいさつ (省略) 3協議会会長のあいさつ (省略)	
その他			

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	4.協議事項 ・第2次嬉野市健康総合計画・嬉野市食育推進計画(H25～H29)について (1)目標値と現状値について (2)今後の取り組みについて		
内 容	事務局より、計画の概要、中間評価(アンケート調査の結果)の説明を行った。		
審議経過	田中会長	担当課では健診結果等を受けた指導もされており業務量も多かったと思う。今の説明を受けて質問・意見のある方は願います。	
	松本委員	「こころの体温計」の内容について説明をお願いします。	
	事務局	メンタルヘルスチェックシステムである。いくつかの質問項目に回答することで、自身の心の状態を知ることができるシステムである。	
	松本委員	インターネットで行うものか。	
	事務局	インターネットで行うものである。	
	松本委員	アクセス数はどの程度か。	
	事務局	毎月1,500件程度のアクセスがあっている。	
	松本委員	このシステムについての周知はどのように行われているのか。	
	事務局	システム運用開始時とアルコールモードを追加した際、及び悩みを抱える人が4月に増える傾向にあることから、4月市報に掲載している。またホームページにも掲載している。心の相談については医師が実施しているものと保健師が実施しているものがあり、両方とも月1回実施している。	
	古河委員	子どもたちに朝食をとることが重要だと認識してもらうための事業に取り組んでいるが、まだ朝食をとらない人が多くいることは非常に残念である。また歯科健診についてだが、以前は月に1回だったが、3回受診するように変わったのはなぜか。	
古賀委員	(古河委員の発言のなかの健診は)市で行っている年齢の節目の方を対象とした歯科健診とは全く別の話だと思うが、これは医療保険の中で行われているメンテナンス的な健診である。これは国が決められている制度の中で行われている。内容が度々変更になっている。国の制度なので医師等はその制度に沿って実施している。市が実施しているものとは全く別である。		

古河委員	食生活改善推進協議会では朝食の必要性を訴え続けてきたが、朝食をとらない子どもが増えたと聞いて驚いているところである。
事務局	食生活改善推進協議会の協力をいただき、食育教室などで朝食の重要性を周知していただいているところだが、毎日朝食をとる人の割合はなかなか増えていないのが現状である。本年度は「子どもが作るお弁当の日」事業も実施していただいたが、そういう現状である。
古河委員	データの根拠は何か。
事務局	資料にアンケート結果をもとにした数値を載せているが、「朝食を毎日食べている人」の項目では、現状値が79.5%となっており、平成24年度(74.6%)からやや改善した結果となっている。ただ、そのうち子どもたちがどの程度朝食を食べているかは、この数値に含まれているため不明である。 《続けて食育担当者発言》 保育園児、幼稚園児では平成24年度に93.5%だったものが、95.6%にやや増えている。小学5年生、中学2年生ではどちらも1~2%減少した結果となっている。
井上委員	運動施設としては、「楠風館」に小規模ながら設備があるということだが、施設が充実しているかといえば、そうでないと思われる。今回「リバティ(体育館)」ができたので、その中に整備することも検討していただきたい。他市町には充実した施設もある。
事務局	高齢者を対象にした介護予防教室も実施されているが、多くの参加者があっている。今回のアンケートでは若年層も、運動の機会を求めている意見があったので、調査検討は行いたいと考えている。
田中会長	若年層は会社帰り、夜間の利用となる。そういう時間帯に利用できる施設を運営するとなればコストもかかると思うので、十分に調査をし、慎重に検討しなければいけないと思う。また、専門的な器具を設置すれば、それを使った運動を指導する担当者も必要になる。
中村委員	アンケート項目に「まったく運動していない人」という項目があるが、農作業等で体を動かしている方などは含まれるのか。
事務局	アンケートでは「あなたは、運動(1日30分以上のウォーキング・ジョギング・ゲートボール・体操など)をどのくらい行っていますか。」と尋ねており、回答者の考え方によっては含まれていることもあると思われる。
松本委員	運動代わりに農作業をしているという人もいると思う。運動施設に行くとなれば時間にも縛られる。施設を整備するとなればそういったことも踏まえて検討していただきたい。
田中会長	計画の推進については市にお願いすることとなるので、よろしくお願ひする。
中村委員	市で行われている各種検診の際に血管年齢の検査も行うことができなにか。また、待ち時間の間に血圧測定ができるように、会場に血

		<p>圧計を置くことができないか。</p>
事務局		<p>市には血管年齢を測定する機器がないので、実施するとなれば検診機関に借りることになる。ほかに血圧計の配置などは今後検討する。</p>
田中会長		<p>医療機械は大小問わずかなり高価である。脳ドックなどを活用してもらってもいいと思う。</p>
事務局		<p>血管年齢の測定機については、購入することは難しいかもしれないので、検査機関から借り受けて行うことが可能であるか検討する。</p>
北委員		<p>自殺者について、ゲートキーパーの養成事業があったと思うが、状況と今後の取り組みについて説明をお願いします。</p>
事務局		<p>自殺対策として平成22年度よりゲートキーパーの養成講座を実施している。毎年対象者を替えて実施しているが、今年度は講演会という形で地域コミュニティーを対象として1回、一般を対象として2回実施した。</p>
北委員		<p>コミュニティーによっては講演会の内容が偏ったりするので、そういったことがないように取り組みを行っていただきたい。</p>
事務局		<p>事前に市内すべてのコミュニティー事務局に講演内容を示して、希望がある地区で実施していただいている。</p>
中村委員		<p>「ゆっつらくん健康体操」について、健康体操であるのでもっと市民の方へ周知を図っていただきたい。防災無線等を活用してもいいと思う。</p>
事務局		<p>周知については今後さらに検証し、普及を図りたいと考えている。</p>
中村委員		<p>(市長への質問) 嬉野市には特産の「うれしの茶」があるが、カフェインゼロのうれしの茶は開発できないか。</p>
市長		<p>業界では研究されていると思う。</p>
中村委員		<p>妊婦や授乳期の女性はお茶を飲まない。その習慣が子どもにも伝わる。せっかくのお茶の産地なのでもったいない。</p>
市長		<p>「ごみ処理、下水道処理についての行政報告」 (省略)</p> <p>(ほかに発言等なし)</p>
田中会長		<p>様々な意見が出たが、市で調査検討し、次回報告していただきたい。これで本日の協議会については閉会する。</p> <p>《協議事項すべて終了、閉会(健康づくり課長)》</p>
その他	なし	